


地域情報化アドバイザープロフィール

ふりがな	いまい たけひこ		
氏名	今井 建彦		
所属・役職	元仙台市情報政策部長 A&I 研究所 代表		
活動拠点	全国。昨年は北海道で活動。		
略歴	<p>宮城県出身。1980年仙台市入庁。 地域情報化事業にて第3セクターを設立。情報化人材育成事業等に従事。 2009年より情報政策課長。2012年より情報政策部長。 基幹システムのクライアントサーバ化、コスト削減、マイナンバー導入などに従事。 2013年総務省情報化促進貢献個人等表彰において総務大臣賞受賞。 地方公共団体情報システム機構より特別表彰。 2015年仙台市退職。公益財団法人 仙台市産業振興事業団事務局長就任、2018年3月退職。2018年4月より現職。</p>		
地域情報化の 専門分野・技術	自治体の地域情報化事業全般に対応可能です。 特に、自治体DX推進計画・地域情報化計画策定支援、人材育成・活用支援、自治体セキュリティ支援、自治体システム調達支援、防災（東日本大震災の経験も含め）については、実務経験に基づいた支援が可能です。		
専門分野	計画策定支援（地域情報化計画・官民データ計画・自治体DX推進計画等） 人材（外部人材活用） 自治体セキュリティ 自治体システム調達/地域情報プラットフォーム マイナンバー 防災		
自治体向けメッセージ	自治体とその存立基盤である地域は、独自の特性を有しています。そのため、ICTの活用の仕方、進め方は、自治体ごとに特徴があると思います。どんなやり方があるのか一緒に具体的に考えましょう。		
関連サイト			
地域情報化に関する実績	これまでの経験業務・研究活動	<ol style="list-style-type: none"> 1985年～1997年にかけて、仙台市テレトピア基本計画、ニューメディア基本計画、ソフトウェア産業振興計画などの策定を行うとともに、地域のパソコン通信を事業とする(株)コミネット仙台及びソフトウェア産業振興を目的とする(株)仙台ソフトウェアセンター等の第3セクター設立・運営に従事。 2009年より、仙台市ICT戦略、仙台市最適化ポリシー及びプランを策定するとともに、仙台市の基幹系システムの再構築を行い、レガシーシステムからクライアント・サーバシステムへの移行を進め、構築・運用コストの削減を行う一方でSaaSの導入や新規のシステム開発 	

		<p>を促進。</p> <p>3. 東日本大震災発生以降、「東日本大震災被災地自治体ICT担当連絡会」を設立し、甚大な被害を受けた自治体にPCを配布するなどし、自治体の機能回復、被災者支援業務の推進をサポートするとともに、自治体のICT担当者の意見交換、情報発信を実施。</p> <p>4. 2013年より、マイナンバー制度に対応するための全庁的な組織を立ち上げ、円滑な導入に取り組む。</p> <p>5. 総務省「災害に強い電子自治体に関する研究会」 総務省「地方公共団体における情報セキュリティ対策の向上に関する研究会」 内閣官房IT総合戦略本部「マイナンバー等分科会」等 構成員</p> <p>6. 2020年の実績 宮古市デジタル戦略推進基本計画策定支援</p> <p>7. 2021年の実績 釧路市において、釧路市DX推進方針に基づいた防災へのIT活用について検討支援</p>
	<p>これまで に関与し た地域情 報化に関 するプロ ジェクト</p>	<p>同上</p>